令和2年度 第1回外部評価委員会

事務事業評価・年次事業評価シート

事務事業	事務事業評価シート(対象:R1年度実施事業)									11010	10				位置付け		主要事	業	総合戦略	市長公約	
事務事業	名	基幹	系情	報処理業	\$務管理事	事務			部	企画財政部					実施主体	•	市	県	国	その他	
施策の柱	(章)	6	新公司	共経営					課	企画経営課 情報化推進担当、社会保障・税番号制度				播号制度担当	継続年数	5年以下 6~10年 ● 11~15年 16年以」					Ŀ
大施策(節)	3	健全	で計画的	・効率的	りな行政の	の体制づく	くり	係・担当	情報化	と推進:	担当			根拠法令等	●有	· [ITā	基本法、e-	-Japan重点計画、I	「新改革戦略]	無
基本施筑	策	3	行政	事務の電	這子化				担当者名	浅見	恵一		内約	泉 311	事業の対象	-	全市民		市民の一部	内部職員	
予算科	目	会	計	01	款	2	項	1	目		9	事業		3	争未の対象		その他	[]
事業目的	的)向上を [:運用を図		亍政事務 6	の基幹	伞系情報 処	理業務	Ç	事業概要	AH		系情報処理業務 るとともに、自					処理業務を外部 用する。	部

	単位:円	H30決算	R1予算	R1決算	R2予算
事業	費 (A)	127, 142, 266	148, 277, 000	143, 394, 302	153, 277, 000
	委員報酬				
事	物件費	127, 142, 266		143, 394, 302	153, 277, 000
· 業 費	維持補修費				
質の	扶助費				
内	補助費等				
訳	普通建設事業費				
	その他				
財	国庫支出金				
源	県支出金				
の	市債				
内訳	その他				
九	一般財源	127, 142, 266	148, 277, 000	143, 394, 302	153, 277, 000
職員	」数(人/年)	0.95	0.95	0.95	0.95
職員	(人件費(B)	7, 471, 750	7, 471, 750	7, 471, 750	7, 295, 050
総事	業費 (A+B)	134, 614, 016	155, 748, 750	150, 866, 052	160, 572, 050
人件	·費率(B/(A+B))	5. 6%	4.8%	5.0%	4.5%
予算報	執行率(職員人件費除く)	_	_	96. 7%	

	事業の実施状況(見込み)
平成30年度	・基幹系情報処理業務の自治体クラウド型サービス利用の管理 ・行政事務における情報処理業務の共通外部委託
令和元年度	・基幹系情報処理業務の自治体クラウド型サービス利用の管理 ・行政事務における情報処理業務の共通外部委託 ・次期基幹系情報処理業務の調達に係る準備
令和2年度	・基幹系情報処理業務の自治体クラウド型サービス利用の管理 ・行政事務における情報処理業務の共通外部委託 ・次期基幹系情報処理業務の調達に係る準備

活動指標名	単位		平成30年度	令和元年度	成果指標名	単位		平成30年度	令和元年度
		計画					目標		
		実績					実績		
		計画					目標		
		実績					実績		

■事業の評価 (R1年度の事後評価)

①必要性の評価 評価者名 鈴木 健

当該事務事業について市が関与する必要性

■ A:非常に高い B:高い C:ある程度認められる

法律、政令、省令、通達等により、市に実施が義務づけられている
事業を止めた場合、市民の生命、財産等に大きな影響を与える恐れがある
サービスの拡大や充実を求める市民意見・要望が増えている
市が何らかの関与(監督、指導等)をしないと、問題が発生する可能性がある
当該事務事業が解決すべき課題が増えている。増えることが予想される
その他 「市の行政事務遂行において必要な環境整備。

②目標達成度の評価

R1年度の目標達成度

A:達成した(100%)

● B: 概ね達成できた(80%以上)

C:達成できなかった(80%未満)

活動指標の目標を達成した

成果指標の目標を達成した

■業務改善方針等の指標に現れない目標を達成した

達成できた内容/できなかった内容・理由(必ず記入)

断理

基幹系情報処理業務共通システムサービス提供・利用契約を継続した。 また、改元にともなうシステム対応を行った。

③実施内容・方法の評価

成果向上やコスト削減のための見直しの余地

余地が大きい

● 余地がある

余地が全くない

■ 民間委託や指定管理者制度の活用などの事業手法を再検討する余地がある

事業費や人件費などのコストを圧縮する工夫が考えられる

断

業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化することが考えられる

社会情勢やニーズの変化等により、サービスの対象・量・水準を見直すことが考えられる

理成果を高める工夫が考えられる

その他

④公平性の評価

<u> </u>	/A											
i.;	i.受益者が一部に偏っているか											
	偏りがある やや偏りがある 偏りがない ● 非該当											
ii . :	ii. 受益者負担の見直しの余地											
	余地がある 余地がない 受益者負担がない 非該当											
判		使用料·手数	料等	の料金設定を市で行	うこと	こができる						
断		国や県、民間事業者等が同種・類似サービスを提供している										
理	受益者の負担割合が国等の定めている基準を下回っている											
曲		使用料·手数	料等	の見直しから5年以」	上経近	過している						

■計画期間を通じての課題と対応策

	評価時点で認識されて	こいる問題・課題									
	課題はほとんどない	●ある程度課題がある	大きな課題がある								
課題	基幹業務契約の更新については、事務に支障を生じないよう、また、番号制度の運用において市民の情報を適正に運用できるよう、適切に選定する必要がある。										
考えられる 対応策	業務の重要性等を考慮	貳し、適切なシ ステムの	運用を図る。								

■総合評価(最終目標に対する進捗状況)

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) ☆☆:概ね順調(最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調)

☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

総合評価	判断理由
	重大な障害を発生させることなく、クラウドサービスの安定した 運用を実施することができた。

■今後の方向性(計画期間を通じての方向)

	・現状の	まま継続	:	休止·廃止			:終了•完了				
方向性	: 見直し	て継続	: 他事業と統合して継続								
기비교											
	│ 	点化(拡充)	手段	とを改善	簡素化 その他						
経営資源	事業費	増加	•	現状維持			削減				
(R2年度比)	労働量	増加		現状維持			削減				
今後の 実施方針 (改善方針)		応をはじめ、 システムの最				幸 に[句けた調査・研究				

事	事務事業評価シート(対象:R1年度実施事業)									コード	170200	00				位置付け		主要事	業	糸	総合戦略		市長公約	
事	事務事業名	雨水	整備	事業					咅	fß.	建設部				実施主体	•	市	ĥ		国		その他		
施	策の柱(章)	5	都市	基盤・環	環境				部	果	下水道課					継続年数	5年以下 6~10年 11~15年 ● 16:					● 16年以上	:]	
ナ	大施策(節)	6	6 治水と水循環によるまちづくり							担当	計画・	工務	係			根拠法令等	● ≉	● 有 [都市計画法、下水道法]] #	共
:	基本施策	1	治水	対策の推	進				担当	者名	中根	健文		内線 263		- 事業の対象		全市民		市月	民の一部		内部職員	
	予算科目	会	計	03	款	2	項	1	L	目		2	事業		2	事業の対象		その他	[]
	事業目的	る	・内水排除機能を向上させ、安全で快適な都市環境を形成するため、雨水幹線、八潮南部地区内の雨水管、市内ポンプ場等の整備を行う。										事業概要	臣	段階 • 南部	整備:葛西幹総 的な整備 雨水整備:南部 プ場整備:中川	『地[区内の同		の整	É 備			

	単位:円	H30決算	R1予算	R1決算	R2予算
事業	費 (A)	181, 906, 225	322, 466, 000	244, 925, 310	1, 164, 655, 792
	委員報酬				
事	物件費				
事業費	維持補修費				
負の	扶助費				
内	補助費等				
訳	普通建設事業費	181, 906, 225	322, 466, 000	244, 925, 310	1, 164, 655, 792
	その他				
財	国庫支出金	32, 550, 000	79, 950, 000	79, 900, 000	
源	県支出金				
の	市債	32, 500, 000	119, 200, 000	152, 420, 000	
内	その他	8, 457, 453	1,600,000		1,600,000
八	一般財源	108, 398, 772	121, 716, 000	12, 605, 310	70, 155, 792
職員	!数(人/年)	0.76	0.76	0.76	0. 76
職員	(人件費(B)	5, 931, 764	5, 977, 400	5, 977, 400	5, 836, 040
総事	業費(A+B)	187, 837, 989	328, 443, 400	250, 902, 710	1, 170, 491, 832
人件	·費率(B/(A+B))	3.2%	1.8%	2.4%	0.5%
予算载	执行率 (職員人件費除く)	_	_	76.0%	

	事業の実施状況(見込み)
平成30年度	・葛西排水区の雨水幹線築造工事 (L=46.0m)を完成した。 ・鳥内排水区の管渠等 (L=720.0m)の実施設計と地質調査を行った。
令和元年度	・伊勢野排水区の雨水管渠 (L=105.0m)の実施設計と地質調査を行った。 ・南部地区内の雨水管渠工事 (L=166.7m)を完成した。
令和2年度	・鳥内排水区の雨水管渠工事を行う。・葛西排水区の雨水幹線築造工事を行う。・西袋排水区の雨水幹線の実施設計を行う。・南部地区内の雨水管渠工事を行う。

活動指標名	単位		平成30年度	令和元年度	成果指標名	単位		平成30年度	令和元年度
雨水整備延長	1, 100	計画	0.9	0.4	雨水整備率	0/-	目標	48.6	49. 3
附小金佣处文	k m	実績	0.46 0.17 内外至偏华		附 小 笠佣平	70	実績	48. 2	48. 7
ポンプ場整備	箇所	計画	0		ポンプ排水能力	₩3 /C	目標	0	
かく 7 物金加	固別	実績	0			m/S	実績	0	

■事業の評価 (R1年度の事後評価)

①必要性の評価 当該事務事業について市が関与する必要性 A: 非常に高い ■ 法律、政令、省令、通達等により、市に実施が義務づけられている ■ 事業を止めた場合、市民の生命、財産等に大きな影響を与える恐れがある サービスの拡大や充実を求める市民意見・要望が増えている 市が何らかの関与(監督、指導等)をしないと、問題が発生する可能性がある 当該事務事業が解決すべき課題が増えている。増えることが予想される その他 その他

②目標達成度の評価

R1年度の目標達成度

A:達成した(100%)

● B:概ね達成できた(80%以上)

C:達成できなかった(80%未満)

活動指標の目標を達成した

成果指標の目標を達成した

■業務改善方針等の指標に現れない目標を達成した

達成できた内容/できなかった内容・理由(必ず記入)

断理

・国庫補助金活用事業の予算配分変更により、葛西排水区の雨水幹線工事 は、計画に達しなかったが、八潮南部西一体型区画整理事業の管渠工事 を実施できた。

③実施内容・方法の評価

成果向上やコスト削減のための見直しの余地

余地が大きい

● 余地がある

余地が全くない

- 民間委託や指定管理者制度の活用などの事業手法を再検討する余地がある
- 事業費や人件費などのコストを圧縮する工夫が考えられる

判断理

業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化することが考えられる

社会情勢やニーズの変化等により、サービスの対象・量・水準を見直すことが考えられる

成果を高める工夫が考えられる

その他

④公平性の評価

<u> </u>	y ateoniii							
i.	i. 受益者が一部に偏っているか							
	偏りがある やや偏りがある 偏りがない ● 非該当						非該当	
ii .	ii. 受益者負担の見直しの余地							
	余地がある 余地がない 受益者負担がない 非該当							
判	使用料・手数料等の料金設定を市で行うことができる							
断								
理								
曲		使用料・手数	料等	の見直しから5年以」	上経近	過している		

■計画期間を通じての課題と対応策

	評価時点で認識されている問題・課題					
	課題はほとんどない ● ある程度課題がある 大きな課題がある					
課題	・南部雨水整備は、土地区画整理事業の進捗により計画通りの 事業執行ができない。 ・ポンプ場整備は、多額の経費を要する。また、計画・設計段 階から専門的知識を有している技術者が必要となる。					
* 土地区画整理施行者と再度事業調整を行い、南部雨水整備の施工場所等の調整を行う。 * 国庫補助金の導入を図る。また、技術者の不足を外部委託等で補う必要がある。						

■総合評価(最終目標に対する進捗状況)

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) ☆☆:概ね順調(最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調)

☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

総合評価	判断理由
☆☆ 概ね順調	・国庫補助金活用事業の予算配分変更により、活動指標及び成果指標は目標を下回ったが、土地区画整理施行者からの要望2箇所の整備を行うことができた。

■今後の方向性(計画期間を通じての方向)

	● :現状のまま継続	:休止•廃止 :終了•完了
方向性	:見直して継続	: 他事業と統合して継続
23 1-3 III	■ 重点化(拡充)	手段を改善 効率・簡素化 その他
経営資源	事業費●増加	現状維持 削減
(R2年度比)	労働量●増加	現状維持 削減
今後の 実施方針 (改善方針)	また、事業実施につい)、整備を効率的、効果的に行う。 いて課題となる財源、技術者の不足に D導入や外部委託等で対応していく。

年次事業評価シート(指定管理者の業務に係る事業の評価)

【施設の概要】

END HX 11 100 X 2						
所管課名	保育課					
施設名	八潮市立はちじょうきた学童保育所					
施設所在地	八潮市大字八條1150					
設置の目的	児童福祉法第6条の3第2項に規定する放課後児童健全育成事業を行うため					
指定管理者	特定非営利活動法人 TSUKUSHINBOUZ					
指定期間	平成31年4月1日 ~ 令和4年3月31日					
評価期間	平成31年4月1日 ~ 令和2年3月31日					
指定管理者に 求めるもの	多様化する住民のニーズに効率的に対応し、保育のサービスの向上を図ること。					

【指定管理者が行う主な業務の内容】

- (1) 放課後児童健全育成事業の実施に関する業務 (2) 学童保育所の入所の承諾に関する業務 (3) 学童保育所の施設及び設備の維持管理に関する業務
- (4) (1)~(3)に掲げるもののほか、市長が必要と認める業務

【管理経費の収支状況】

<u> </u>	具切心人				
		直営最終年度	平成30年度	令和元年度	比較(R1-H30)
収入(円)	管理料	_	6, 444, 000	8, 664, 000	2, 220, 000
	利用料金収入	_	1, 944, 305	1, 932, 396	-11, 909
	その他	_	3	2	-1
	前期繰越	_	540, 699	648, 961	108, 262
	運営費	_	1, 105, 625	1, 098, 308	-7, 317
支出(円)	人件費	_	6, 810, 657	8, 621, 970	1, 811, 313
	維持管理費	_	363, 764	444, 634	80, 870
収支(円)		_	648, 961	1, 080, 447	431, 486

[※]詳細は別添「自己評価表」参照

【施設の利用状況】

	平成30年度	令和元年度	比較(R1-H30)
開館日数(日)	288	288	
登録児童者数(人)	20	20	

[※]詳細は別添「自己評価表」参照

【活動指標】(事務事業評価から引用)

	単位		平成30年度	令和元年度
学童保育所入所定員の増加	Į.	計画	570	580
字重保育所入所定員の増加		実績	570	580

【成果指標】(事務事業評価から引用)

Essesian in the second				
	単位		平成30年度	令和元年度
学童保育所入所児童数(年間延べ人	Į.	計画	6, 720	6, 840
数)	八	実績	6, 252	6, 867

【利用者満足度調査結果】(抜粋)

	非常に 満足	満足	どちら でもない	不満	非常に 不満	合計
指定管理者に対する評価(総合評価) (人)	7	3	1	0	0	11
割合(%)	63.6%	27.3%	9.1%	0.0%	0.0%	100.0%
利用者満足度指数	4	4				

【サービスの向上】(指定管理者が運営を行うことによりサービスが向上したものについて記述)

-|長期休みには、映画鑑賞会やスポーツ大会等を行っている。また毎年、平和の学習を 目的として朗読劇を行っている。

	評価	項目	確 認 結 果	=1. /±	特記事項
業務履行内容		評価方法	(具体的な確認事項、根拠)	評価	現地確認事項
①開館時間					
開館予定日、開館時間は守	られているか	開館日数、時間数が守られていたか関係書類に より確認する	・開所日数288日 ・開所時間 平日13:00~18:30 1日保育時8:00~18:30	А	
②管理執行体制に関する事項					
業務を遂行するための必要 れているか	な職員は確保さ	職員の配置を就労関係書類などにより確認する	・職員の人数:5人 ・市の条例に基づき利用者10人当たり1人以上の配置をしてい る。	А	
業務の処理に適した執行体 おけるチェック機能が確保		体制の状況について現状を確認する 業務処理 を確認できる各種規定などにより確認する	児童の保育を安全に行うため、気になる児童に対して加配の 職員を置くなどの体制をとっている。	Α	
業務に従事する職員は、関 ているか	係法令を遵守し	研修会の開催等関係書類により確認する	法令を遵守し、運営を行っており、市内・県内の研修にも参加している。	А	
③個人情報の保護					
八潮市個人情報保護条例に り扱われているか	基づき適正に取	条例違反の有無について関係書類やヒアリング により確認する	・条例違反は確認されていない。 ・個人情報に関わる書類・外部記録媒体のUSBメモリは、鍵の かかるキャビネットで保管している。	Α	
個人情報の管理及び取り扱 アル等の作成がなされてい		作成状況及びその内容について確認する	マニュアルが整備され、適正に管理されている。	Α	
④利用者への対応及びサービス	等の向上				
事業計画に基づいた行事は	行われているか	関係書類等により確認する	別紙の事業報告書から確認を行い、計画通り実施されていた。	Α	
利用者へのアンケート調査自己分析や業務改善を行っ		関係書類等により確認する	・期間:令和2年1月10日~1月24日 ・回答数:12件 ・事業報告書において自己分析を行い課題を挙げている。	А	利用者満足度調査で は、特に意見はなかっ た。
市民からの苦情等のトラフ に行われているか	゛ルの対応は適切	関係書類等により確認する	利用者の苦情等には適切に対応しており、大きなトラブルはなかった。	Α	
職員育成のための研修は行	われているか	関係書類等により確認する	放課後児童支援員認定資格研修などの外部の研修も受講している。	А	

評価		確認結果	評価	特記事項
業務履行内容	評価方法	(具体的な確認事項、根拠)		現地確認事項
利用許可業務				
	利用料金が市と協議した設定となっているか確 認する	・利用料:月額9,000円 ・市の規則の基づき適正に徴収されている。	А	
利用料金の減免の手続きは適正に行われているか	関係書類等により確認する	市の規則に基づき減免を適正に行われている。 ・生活保護法における被保護者:全額免除 ・ひとり親家庭等医療費の受給世帯:1/2の減額 ・同一世帯において2人以上の入所児童が存ずる世帯:1,000円減額	А	
利用料金の徴収は適正に執行されているか	利用料金の徴収が適正に執行されているか確認する	収納管理簿にて適正に執行されていることを確認した。	А	
利用者の公平な選考を行っているか	事業計画及び関係書類により現状を確認する	八潮市学童保育所設置及び管理条例施行規則によって、公平 な選考が行われている。	А	
施設設備及び物品の維持管理			,	
	正常に維持されているか、保守点検や修繕の状 況について関係書類及び現状を確認する	関係書類の記録簿を確認。1年に2回は施設整備の点検をし、 市に報告している。	А	
施設の改修・修繕は市と協議の上で行われ ているか	修繕の箇所、経緯について関係書類を確認する	施設に修繕などが必要な不具合があった場合、市と協議を し、正常に維持されている。	Α	
	施設の警備状況について関係書類及び現状を確 認する	・施錠責任者を決め適切に施錠ができている。 ・警備会社 アルソックと契約を締結している。施錠後に侵入 者があった場合、警備員が見回りを行う契約となっている。	А	
	業務範囲が的確に処理されているか関係書類に より確認する	・平日は児童が登所する前に清掃を行っている。 ・一日保育日は児童が外遊びをしているときなどに清掃を 行っており、施設内は清潔に保たれていた。	А	
安全衛生管理に配慮した業務運営、管理がされているか	施設の安全衛生管理の状況について関係書類及 び現状を確認する	職員全員の健康診断を行っていた。	А	
物品 (備品) の管理は適切に行われている か	台帳により確認	市の備品については備品台帳で管理しており、年に1回備品の 目視確認を実施している。	А	

評価 項目		項目	確 認 結 果	評価	特記事項
	業務履行内容	評価方法	(具体的な確認事項、根拠)	ат іш	現地確認事項
7	経費の執行管理				
	経費を効率的に運用する工夫はされている か	関係書類やヒアリングにより確認する	施設内を常に整頓するなどし、無駄なものが増えないように している。	А	
	経費を適正に執行管理するための体制が確 保されているか	体制の状況について現状を確認する	経費の執行を行う際、職員間で事前打ち合わせ、事後確認を することで管理体制を確保している。	А	
	資金の適正な管理と経理内容の明確化が図 られているか	経理内容について帳簿及び関係書類により確認 する	経理内容に具体的な記載があり、明確化が図られている。	А	
	経費に係る経理規程等の整備が行われてい るか	作成状況及びその内容について確認する	規定を整備しており、不足はなかった。	А	
8					
	業務の一括委託などは行われていないか	委託契約書等の関係書類で確認する	一括委託は行われていない。(警備業務は委託)	А	
	賠償保険に加入しているか	保険証書等により賠償保険の保険内容等を確認する	傷害保険・賠償保険に加入している。	А	

【指定管理者自己評価及び業務改善に向けた分析】

(1) 指定管理者自己評価

- ・引き続き、利用者の意見を受け止め、改善に努めたい。・一日保育の開所時間を早めてほしいとの要望があった。

(2) 業務改善に向けた分析

一日保育の開所時間を検討していく。

【所管課所見】

総合評価
A

年次事業評価シート(指定管理者の業務に係る事業の評価)

【施設の概要】

所管課名	保育課				
施設名	八潮市立どんぐり学童クラブ				
施設所在地	八潮市緑町4-1-1				
設置の目的	児童福祉法第6条の3第2項に規定する放課後児童健全育成事業を行うため				
指定管理者	特定非営利活動法人 八潮市学童保育・子どもの遊び場ネットワーク				
指定期間	平成31年4月1日 ~ 令和4年3月31日				
評価期間	平成31年4月1日 ~ 令和2年3月31日				
指定管理者に 求めるもの	多様化する住民のニーズに効率的に対応し、保育のサービスの向上を図ること。				

【指定管理者が行う主な業務の内容】

- (1) 放課後児童健全育成事業の実施に関する業務 (2) 学童保育所の入所の承諾に関する業務 (3) 学童保育所の施設及び設備の維持管理に関する業務
- (4) (1)~(3)に掲げるもののほか、市長が必要と認める業務

【管理経費の収支状況】

		直営最終年度	平成30年度	令和元年度	比較(R1 - H30)
	管理料	_	7, 782, 000	9, 154, 000	1, 372, 000
収入(円)	利用料金収入	1	5, 036, 697	5, 414, 650	377, 953
以八〇万	その他	1	40	42	2
	前期繰越	1	4, 810, 744	4, 650, 129	-160, 615
	運営費	ı	3, 295, 153	3, 322, 113	26, 960
支出(円)	人件費	1	8, 608, 955	11, 852, 674	3, 243, 719
文田(11)	維持管理費	1	852, 994	760, 441	-92, 553
	その他	1	222, 250	18,000	-204, 250
47	双支(円)	_	4, 650, 129	3, 265, 593	-1, 384, 536

[※]詳細は別添「自己評価表」参照

【施設の利用状況】

	平成30年度	令和元年度	比較(R1 - H30)
開館日数(日)	288	293	5
登録児童者数(人)	66	66	

[※]詳細は別添「自己評価表」参照

【活動指標】(事務事業評価から引用)

	単位		平成30年度	令和元年度
学童保育所入所定員の増加	Į.	計画	570	580
字重保育所入所定員の増加	八	実績	570	580

【成果指標】(事務事業評価から引用)

	単位		平成30年度	令和元年度
学童保育所入所児童数(年間延べ人	Į.	計画	6, 720	6, 840
数)	八	実績	6, 252	6, 867

【利用者満足度調査結果】(抜粋)

	非常に 満足	満足	どちら でもない	不満	非常に 不満	合計
指定管理者に対する評価(総合評価) (人)	12	12	7	2	2	35
割合(%)	34. 3%	34.3%	20.0%	5. 7%	5. 7%	100.0%
利用者満足度指数		3				

【サービスの向上】(指定管理者が運営を行うことによりサービスが向上したものについて記述)

お泊り会や学童まつり、花やしきへの遠足などの行事を開催している。

評価項目		項目	確 認 結 果	評価	特記事項
	業務履行内容	評価方法	(具体的な確認事項、根拠)	計加	現地確認事項
①開	館時間				
	開館予定日、開館時間は守られているか	開館日数、時間数が守られていたか関係書類により確認する	・開所日数293日 ・開所時間 平日13:00~18:30 1日保育時8:00~18:30	А	
②管	理執行体制に関する事項				
	業務を遂行するための必要な職員は確保さ れているか	職員の配置を就労関係書類などにより確認する	・職員の人数:7人 ・職員の配置人数が不足している日が見受けられた。登所する児童の人数と職員の人数を把握し、適切に配置するよう指導し、改善されたことを確認した。	В	
	業務の処理に適した執行体制や処理過程に おけるチェック機能が確保されているか	体制の状況について現状を確認する 業務処理 を確認できる各種規定などにより確認する	毎日の出欠確認時の健康観察や、保護者への緊急連絡メール の整備等、適切な対応が取れるよう確保されている。	А	
	業務に従事する職員は、関係法令を遵守し ているか	研修会の開催等関係書類により確認する	法令を遵守し、運営を行っており、市内・県内の研修にも参加している。	А	
③個	- 人情報の保護				
	八潮市個人情報保護条例に基づき適正に取 り扱われているか	条例違反の有無について関係書類やヒアリング により確認する	・条例違反は確認されていない。 ・個人情報に関わる書類は鍵のかかるロッカーで保管してい る。	А	
	個人情報の管理及び取り扱いに係るマニュ アル等の作成がなされているか	作成状況及びその内容について確認する	マニュアルが整備され、適正に管理されている。	А	
④利	用者への対応及びサービス等の向上				
	事業計画に基づいた行事は行われているか	関係書類等により確認する	別紙の事業報告書から確認を行い、計画通り実施されていた。	А	
	利用者へのアンケート調査などを実施し、 自己分析や業務改善を行っているか	関係書類等により確認する	・期間:令和2年1月10日~1月24日 ・回答数:36件 ・事業報告書において自己分析を行い課題を挙げている。		利用者満足度調査で意 見の多かった床の修繕 を令和2年度に実施し た。
	市民からの苦情等のトラブルの対応は適切 に行われているか	関係書類等により確認する	利用者の苦情等には適切に対応しており、大きなトラブルはなかった。	А	
	職員育成のための研修は行われているか	関係書類等により確認する	放課後児童支援員認定資格研修などの外部の研修も受講している。	А	

評価項目		確認結果	評価	特記事項
業務履行内容	評価方法	(具体的な確認事項、根拠)	H1 11-4	現地確認事項
5利用許可業務 				
	利用料金が市と協議した設定となっているか確 認する	・利用料:月額9,000円 ・市の規則の基づき適正に徴収されている。	Α	
利用料金の減免の手続きは適正に行われているか	関係書類等により確認する	市の規則に基づき減免を適正に行われている。 ・生活保護法における被保護者:全額免除 ・ひとり親家庭等医療費の受給世帯:1/2の減額 ・同一世帯において2人以上の入所児童が存ずる世帯:1,000円減額	А	
利用料金の徴収は適正に執行されているか	利用料金の徴収が適正に執行されているか確認する	管理簿にて適正に執行されていることを確認した。	Α	
利用者の公平な選考を行っているか	事業計画及び関係書類により現状を確認する	八潮市学童保育所設置及び管理条例施行規則によって、公平 な選考が行われている。	Α	
- ⑤施設設備及び物品の維持管理				
	正常に維持されているか、保守点検や修繕の状 況について関係書類及び現状を確認する	関係書類の記録簿を確認。1年に2回は施設整備の点検をし、 市に報告している。	Α	
施設の改修・修繕は市と協議の上で行われ ているか	修繕の箇所、経緯について関係書類を確認する	施設に修繕などが必要な不具合があった場合、市と協議を し、正常に維持されている。	Α	令和2年度に床の修繕を 実施した。
	施設の警備状況について関係書類及び現状を確 認する	・施錠責任者を決め適切に施錠ができている。 ・警備会社 アルソックと契約を締結している。施錠後に侵入 者があった場合、警備員が見回りを行う契約となっている。	Α	
	業務範囲が的確に処理されているか関係書類に より確認する	・平日は児童が登所する前に清掃を行っている。・一日保育日は児童が外遊びをしているときなどに清掃を行っており、施設内は清潔に保たれていた。	Α	
安全衛生管理に配慮した業務運営、管理がされているか	施設の安全衛生管理の状況について関係書類及 び現状を確認する	職員全員の健康診断を行っていた。	Α	
物品(備品)の管理は適切に行われているか	台帳により確認	市の備品については備品台帳で管理しており、年に1回備品の 目視確認を実施している。	А	

	評価	項目	確 認 結 果	評価	特記事項
	業務履行内容評価方法		(具体的な確認事項、根拠)	ат іш	現地確認事項
7	経費の執行管理				
	経費を効率的に運用する工夫はされている か	関係書類やヒアリングにより確認する	施設内を常に整頓するなどし、無駄なものが増えないように している。	А	
	経費を適正に執行管理するための体制が確 保されているか	体制の状況について現状を確認する	経費の執行を行う際、職員間で事前打ち合わせ、事後確認を することで管理体制を確保している。	А	
	資金の適正な管理と経理内容の明確化が図 られているか	経理内容について帳簿及び関係書類により確認する	経理内容に具体的な記載があり、明確化が図られている。	А	
	経費に係る経理規程等の整備が行われてい るか	作成状況及びその内容について確認する	規定を整備しており、不足はなかった。	А	
8	 その他の事項				
	業務の一括委託などは行われていないか	委託契約書等の関係書類で確認する	一括委託は行われていない。(警備業務は委託)	А	
	賠償保険に加入しているか	保険証書等により賠償保険の保険内容等を確認する	傷害保険・賠償保険に加入している。	А	

【指定管理者自己評価及び業務改善に向けた分析】

(1) 指定管理者自己評価

利用者満足度結果の「今後、当施施設を利用したいか」という設問で、回答があったほとんどの世帯が継続希望の中、施設の整備についての不満があるが、施設の老朽化によるものだと思われ る。毎日の清掃にも気を付け、不満がある部分に対しては常に気を配っていく。

(2)業務改善に向けた分析

利用者満足度結果の「従前との比較」という設問では、昨年度3.66、今年度3.88と数値が上がった。何か問題が起きた際には、迅速に職員・保護者・子どもたちと話し合える雰囲気をこれから も維持していく。職員が長く働き続けるとともに、保育に関する研修を重ね、保護者の信頼を得れるように努力していく。

【所管課所見】

利用者満足度調査によれば、総合平均は「4.25」であることから、全体としては満足度が高いことがうかがえるが、「施設管理者に対する評価」では、「不満」や「非常に不満」 との回答もあることから、利用者のニーズを把握し、適切な対応に努めていただきたい。

総合評価

В